

情報公開文書

消化器癌(胃癌、肝癌、大腸癌、食道癌、膵癌、胆道癌、消化管間葉系腫瘍)の手術・生検検体や血液サンプルを用いて、肝癌の診断に有用な新しい分子を探索するための研究を行っています。

研究の名称は「消化器癌における遺伝子異常についての網羅的解析」であり、倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て研究を行っています。研究は京都大学医学部附属病院の消化器内科、外科で主に行っています。

研究対象者は胃癌、肝癌、大腸癌、食道癌、膵癌、胆道癌、消化管間葉系腫瘍と診断されている方です。原発性肝癌の治療のために、2017年4月～2022年4月の間に外科的もしくは内視鏡的に切除された手術検体の一部ならびに生検検体の一部、および血液サンプルを用いて、ゲノム異常・エピゲノムについての網羅的な解析を行います。また、「消化器癌における癌抑制遺伝子・DNA修復関連遺伝子群の発現量の検討」(プロトコル承認番号 G616)の研究に参加された方の、2001年4月～2017年4月の間に採取された組織検体・血液サンプルを用いて、上記と同様の解析を行います。この研究結果より、消化器癌の発癌メカニズムを明らかにすることで、実臨床に役立てることを目的とします。

この研究で得られた結果は、消化器癌の臨床診断のための資料として使用します。専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際には慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。個人情報是对応表を作成したうえで匿名化し、個人情報管理者が取り扱います。

解析によって得られたデータは、他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、匿名化の上でデータベースに登録し、国内外の多くの研究者と共有します。

他の研究対象者の個人情報の保護に支障がない範囲での研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧ができますので、担当医師にお申し出ください。また、もしこの研究に検体を使用しないことをご希望の方がおられましたら、下記までご連絡ください。

この研究について何かわからないことや心配なことがありましたら、いつでも担当医師にご相談ください。

(京都大学医学部附属病院 相談支援センター TEL 075-751-4748 E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp または消化器内科医局 TEL 075-751-4319)

研究機関：京都大学大学院 医学研究科 消化器内科、肝胆膵・移植外科、消化管外科

共同研究機関：大阪赤十字病院 消化器内科、兵庫医科大学 肝・胆・膵内科

研究責任者：高井 淳

この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審

査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

研究資金・利益相反については下記のとおりです。

- 1) 研究資金の種類：科学研究費 提供者：文部科学省
- 2) 提供者と研究者との関係：資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与なし
- 3) 利益相反：なし

利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。